

公益社団法人日本キャンプ協会『キャンプの実践と研究』投稿規程

【投稿資格】

1. 本誌へは、公益社団法人日本キャンプ協会（以下、「本会」）の会員・非会員を問わず投稿することができる。

【投稿原稿】

2. 投稿原稿の条件は、以下の通りとする。
 - (1) 投稿原稿の内容は、キャンプや野外活動、自然体験活動等を対象としたものであること。
 - (2) 投稿原稿は、原則として未発表ものに限る。ただし、以下のものについては、初出を明記することで未発表のものとする。
 - 1) 各種学会等において発表要旨集等に掲載されたもの。
 - 2) シンポジウム、研究集会、講演会等で資料等として発表されたもの。
 - 3) 国、自治体、業界、団体等からの委託による調査研究報告書等に収録されたもの。
 - 4) その他、本会が特に認めたもの。

【投稿原稿の種類】

3. 本誌の投稿原稿の種類は、研究論文、研究ノート、実践報告、実践紹介とする。
 - (1) 研究論文は、論文としての内容と体裁を整えており、キャンプや野外活動、自然体験活動等の研究・実践に有用な新たな知見をもたらすもの。
 - (2) 研究ノートは、研究論文に至る完結性がなくとも、研究・調査等に関する資料や情報など、今後のキャンプの研究・実践に有益な示唆を与えるもの。
 - (3) 実践報告は、実際に行われたキャンプ等に関する報告であり、目的・対象・プログラム・指導体制等の概要を示し、新たな取り組みや課題等が十分に整理され、今後のキャンプに有益な示唆を与えるもの。
 - (4) 実践紹介は、実際に行われたキャンプ等に関する表形式の報告であり、目的・対象・プログラム・指導体制等の概要および活動中の写真、成果や課題等を簡潔に提示し、今後のキャンプ研究・実践の参考となりうるもの。
 - (5) その他、本会主催事業における講演やシンポジウムの内容等、本会が作成あるいは依頼する原稿を掲載する場がある。

【執筆要項】

4. 執筆に関する細則については、以下の通りとする。
 - (1) 研究論文、研究ノートおよび実践報告の原稿の作成にはワープロソフト（Microsoft社Word推奨）を使用し、本会ウェブサイト上で配布する指定されたテンプレートを使用して作成すること。
 - (2) 実践紹介は、本会ウェブサイト上で配布する指定されたテンプレート（Microsoft社Word形式）を用いて作成すること。あるいは、ウェブサイト上の投稿フォームを通じて必要事項を提出すること。
 - (3) 原稿の長さは、本文・図表・写真・引用文献を含めて、研究論文は12頁以内（1頁1,600字以内）、研究ノートおよび実践報告は8頁以内、実践紹介は2頁を原則とする。
 - (4) 研究論文は、研究の目的や方法、結果や考察など、論文全体の概要を含む要旨（200字以上300字以内）を和文で示すこと。
 - (5) すべての文体は常体（「である」調）とし、文字は現代仮名遣いを基本とする。句読点は「、」および「。」を用いる。
 - (6) 氏名と所属、表題は和文で明記する。団体会員は団体代表者の氏名を記載できる。なお、表題は原稿の内容を端的に示すこととする。
 - (7) 図表、写真等は適切な解像度であることを確認のうえ本文中の参照箇所に近い位置に配置し、挿入箇所を本文中に明示すること。それぞれに通し番号（図1.、写真1.、表1.）と表題を付し、図・写真は下部中央に、表は上部中

央に通し番号と表題を記載すること。なお、図表は原則グレースケールで作成し、写真はカラーあるいはグレースケールの画像データを使用すること。

- (8) 引用文献は、本文中の引用箇所の右肩に片カッコ付きで順に番号を付し(例¹⁾)、本文の最後に参照順に一括して一連番号を付けて記載する。以下に、引用文献の記載例を示す。

(記載方法)

- 1) 雑誌の場合: 著者名(発表年)・題目, 雑誌名, 発行所, 巻(号): 始めのページ-終わりのページ。
- 2) 書籍(単著)の場合: 著者名(出版年)・書名, 発行所, 始めのページ-終わりのページ。
- 3) 書籍(共著等)の場合: 著者名(出版年)・章の題目, 編者・監修者名(編者の場合は(編), 監修者の場合は(監)), 書名, 発行所, 始めのページ-終わりのページ。
- 4) ウェブページの場合: 題目, サイト名, URL, 参照日

(記載例)

- 1) 天幕一郎(1966)．キャンプの教育的効果, キャンプ研究, 日本キャンプ協会, 3(2):101-112.
- 2) 野外次郎(2023)．キャンプ教育, キャンプ教育研究社, 30-40.
- 3) 海川三郎(2023)．野外生活技術, 野外一郎(編), キャンプ総論, キャンプ教育研究社, 25-28.
- 4) キャンプの効果と意義, 日本キャンプ協会, <https://camping.or.jp/learn-camping/meaningful>, 2024年1月1日

【投稿原稿の採否】

5. 投稿原稿は、以下の通り審査を受けるものとする。

(1) 本誌に投稿された全ての原稿は、編集委員会によって内容および体裁について投稿規定に従って確認され、投稿受付の可否が判断される。必要に応じて、内容および体裁の修正を求めたり、原稿の種別の変更を求められることがある。また、本誌が扱う領域外の原稿や投稿規定に著しく違反している原稿は投稿を受け付けられないことがある。

(2) 上記(1)の審査を通過した原稿について、原稿の種別に応じて以下の審査を行う。

1) 研究論文

(i) 編集委員会が委嘱する2名による査読を行う。その際、匿名性を確保するため、著者情報は伏せられる。

(ii) 各査読者による審査結果は、次の4つのいずれかで報告され、投稿者あてに意見が付される。

A: そのまま掲載可能

B: 一部修正すれば掲載可能

C: 大幅に修正可能ならば掲載可能

D: 掲載不可

(iii) 2名の査読者の審査結果が共に「D」の場合は、掲載不可とする。

(iv) 上記(iii)に当てはまらない場合、2名の査読者の審査結果が「A」の段階に至るまで、投稿者とやりとりを行う。査読は初回査読・再査読・再々査読の3回を限度とし、査読者が相応と考える修正や補正等が再々査読までに満たされなかった場合は不採択とする。

2) 研究ノート、実践報告、実践紹介

査読審査は行わない。ただし、不適切な表現や内容がある場合は、編集委員会が適宜助言し、投稿者による加筆修正を求める。修正の結果、修正を求めた内容が満たされた場合は掲載可能となるが、満たされなかった場合は掲載不可とする。

(3) 原稿は随時受け付ける。ただし、当該年度の刊行物に掲載する原稿の締め切りを10月末日とし、それ以降に受け付けた原稿は次年度発行号の掲載となる。修正を要する全ての原稿は、本会事務局が設定した締め切り期日までに再提出することとし、それを越える場合は取り下げたものとみなす。

【原稿の権利】

6. 本誌に掲載された研究論文や実践報告の著作権（「複製権」、「公衆通信権」、「翻訳権、翻案権」および「二次的著作物の利用権」を含む）は、本会に帰属するものとする。ただし、内容に関する責任は、当該研究論文や実践報告の著者が負うものとする。

【投稿方法】

7. 投稿に関する細則は、以下の通りとする。

(1) 研究論文、研究ノートおよび実践報告は、投稿原稿の電子ファイルを、Word等のテキスト形式とPDF形式で提出する。また、別紙の「キャンプ研究投稿連絡票」に必要事項を記入し、併せて提出する。

(2) 実践紹介は、投稿原稿の電子ファイルをWordファイル形式で提出する。あるいはウェブ上の投稿フォームより必要事項を入力することにより提出する

(3) 投稿料は次の通りとする。

1) 会 員：研究論文 10,000円(税込)

研究ノート 5,000円(税込)

実践報告 5,000円(税込)

実践紹介 3,000円(税込)

2) 非会員：研究論文 15,000円(税込)

研究ノート 10,000円(税込)

実践報告 10,000円(税込)

実践紹介 8,000円(税込)

3) 共著者が含まれる場合は、共著者の会員・非会員の別によらず一人あたり3,000円を加算する。

4) 投稿料は、投稿時に下記のいずれかに納入するものとする。

(i) ゆうちょ銀行 〇一九店(019)

当座 0034031

(ii) 三菱UFJ銀行 渋谷中央支店

普通 0030235

【倫理的配慮】

8. 投稿原稿のもとになる研究や実践は、全ての基本的な人権や自然環境の尊重のもと行われなければならない。特に人を対象とした研究・実践においては、倫理的配慮や個人情報の保護について適切な配慮がなされなければならない。

問い合わせ先

〒151-0052

東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内

公益社団法人日本キャンプ協会『キャンプの実践と研究』担当

電話 03-3469-0217 ファックス 03-3469-0504

E-mail: jjcrp@camping.or.jp